

自然再生推進法に基づく自然再生協議会の設置状況(全国)

平成15年1月の自然再生推進法施行以来、現在までに全国各地で18の自然再生協議会が設置され、それぞれの地域において、全体構想及び実施計画の策定を進めています。

平成18年 2月27日現在

	協議会名	位置	設置日	概要	構成員数	全体構想策定日
1	荒川 <small>たろうえもん</small> 太郎右衛門地区自然再生協議会	埼玉県	H15.7.5	乾燥化が進む旧流路において湿地環境の保全・再生を検討。	63名	H16.3.31
2	釧路湿原自然再生協議会	北海道	H15.11.15	流域からの土砂流入等により乾燥化が進む釧路湿原の再生を検討。	122名	H17.3.31
3	巴川 <small>ともえ</small> 流域麻機遊水地 <small>あきはた</small> 自然再生協議会	静岡県	H16.1.29	洪水防止対策として造成された麻機遊水地において元の麻機沼における植物の回復等自然環境の保全・再生を検討。	46名	—
4	多摩川源流自然再生協議会	山梨県	H16.3.5	山梨県小菅村全域において森林や河川景観等の再生を検討。	46名	—
5	神 <small>こうのやま</small> 於山保全活用推進協議会	大阪府	H16.5.25	竹林の侵入が進む神於山においてクヌギ・コナラを中心とする落葉樹林帯やカシ・シイを中心とする常緑樹林帯の再生を検討。	37名	H16.10.21
6	やんばる河川・海岸自然再生協議会	沖縄県	H16.6.26	リュウキュウアユを呼び戻すため沖縄本島北部地域において河川・海岸の自然再生を検討。	66名	—
7	榎原 <small>かしはら</small> 湿原地区自然再生協議会	佐賀県	H16.7.4	特定植物の繁茂や植物遺体の堆積といった自然遷移の進行により悪化している湿地環境を良好な状態へと再生することを検討。	42名	H17.1.26
8	榎野 <small>ふしのがわ</small> 川河口域・干潟自然再生協議会	山口県	H16.8.1	榎野川河口干潟等の自然環境を再生し維持していくことを検討。	55名	H17.3.31
9	霞ヶ浦田村・沖宿 <small>おきじゆく</small> ・戸崎地区自然再生協議会	茨城県	H16.10.31	霞ヶ浦湾奥部の湖岸環境の再生を検討。	69名	H17.11.27
10	くぬぎ山地区自然再生協議会	埼玉県	H16.11.6	川越市、所沢市、狭山市、三芳町にまたがる武蔵野の平地林「くぬぎ山地区」における歴史的・文化的・環境的価値の継承を検討。	79名	H17.3.12
11	八幡湿原再生協議会	広島県	H16.11.7	臥 <small>がひゆうざんろく</small> 竜山麓八幡湿原地域において湿原環境の再生を検討。	26名	—
12	上サロベツ自然再生協議会	北海道	H17.1.19	国立公園であるサロベツ湿原と農地が隣接する北海道豊富町において、農業と共存した湿原の再生を検討。	59名	H18.2.2
13	野川第一・第二調節池地区自然再生協議会	東京都	H17.3.28	土地利用の変化により自然環境が大きく損なわれたかつての多様な河川環境の再生を検討。	60名	—
14	蒲生 <small>がもう</small> 干潟自然再生協議会	宮城県	H17.6.19	シギ・チドリ類などの渡り鳥の飛来地であり、また底生動物の宝庫である貴重な干潟環境の保全・再生を検討。	25名	—
15	森吉山麓高原自然再生協議会	秋田県	H17.7.19	かつて草地として開発された森吉山麓高原を広葉樹林に再生し、周辺の自然環境と共に保全していくことを検討。	23名	—
16	竹ヶ島海中公園自然再生協議会	徳島県	H17.9.9	サンゴを中心とした海洋生態系の回復を図ることを検討。	34名	—
17	阿蘇草原再生協議会	熊本県	H17.12.2	阿蘇の草原の維持、保全及び再生を図ることを検討。	103名	—
18	石西 <small>せきせいしよこ</small> 礁湖自然再生協議会	沖縄県	H18.2.27	優れたサンゴ礁を保全することに加え、赤土流出への取り組みを進めるなど陸域からの環境負荷を少なくするとともに、サンゴ群集修復事業などを通じて、サンゴ礁生態系の再生を検討。	89名	—